

## 学生ボランティアによる 障害者スポーツのサポート

「No Limit Sports Circle」JtF、鹿児島大学医学部保健学科の学生による、障害者スポーツの補助を行うボランティアサークルです。メンバーは理学療法士を目指す学生ら36名。部長を務める松岡郁大さんが、「障害者にとってスポーツは生きがいになる。理学療法士を目指す者として、そのきっかけづくりに関わりたい」との思いから、大学の仲間に声をかけて立ち上げました。2020年の東京パラリンピックや、同年に鹿児島県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて、障害者スポーツの理解と普及を図るため、陸上競技や球技などさまざまな障害者スポーツの大会、練習に出向き、運営の補助や選手のサポートなどを行っています。

顧問の大渡明彦教授は「障害者スポーツはリハビリ



## 鹿児島大学医学部保健学科・ボランティアサークル No Limit Sports Circle



サークル部長の松岡郁大さん



サポートに汗を流す小嶋良祐さん

陸上選手でもある大島舞子さん



スタッフに見守られ、全国障害者スポーツ大会に向けて練習に励む吉田奈都美さん

の一貫として始まったもの。学生らはそのサポートやフォローを通じて視野を広げ、実感し、体感し、共に汗を流し、将来の仕事に生かして欲しい」と話します。

### 障害の枠や壁を越えて みんなが一緒に汗を流す

走り高跳びの選手である大島舞子さんは、高い専門性を生かして的確な助言をします。「ひとつの言葉で記録がグッと伸びることもあり、一緒に喜びあえることが嬉しい」とのこと。野球経験者の小嶋良祐さんは「競技によっては障害者の方になかなかないことも多いが、難易度やハンドレの設定によって誰でも参加できるところが魅力だ」と話します。取材当日は今年の全国障害者スポーツ大会に出場する鹿児島県選手団の全体練習日。選手として初出場する吉田奈都美さんは「ずっと陸上に関わってきましたが、今までは手伝いや補助をする側でした。走り幅跳びは初挑戦ですが、ボランティアスタッフがサポートを受けて練習を頑張り、もっと遠くへ飛びたいです」と、自らが選手として参加できる喜びをかみしめています。

鹿児島大学医学部保健学科・ボランティアサークル  
No Limit Sports Circle

鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

TEL・FAX 099-275-6801 担当：松田史代(助教)

